

2025年秋期(第177回)講演大会記録

2025年秋期講演大会は、9月17日(水)から19日(金)の期間、北海道大学札幌キャンパスにおいて開催した。また、9月25日(木)にオンラインで高校生・高専学生ポスターセッションを開催した。

9月17日(水) 9:00~9:40 開会の辞、各賞贈呈式(北海道大学工学部オーブンホール)

13:30~17:00 ポスターセッション、高校生・高専学生ポスターセッション

10:00~17:35 各種シンポジウム講演、共同セッション(工学部7会場)

18:30~20:30 懇親会(サッポロビール園ポップラ館2階)

9月18日(木) 9:00~17:40 一般講演、各種シンポジウム講演、各賞受賞講演、共同セッション、国際シンポジウム(工学部19会場)

12:10~12:50 第20回企業ランチョンセミナー(2会場)

9月19日(金) 9:00~17:20 一般講演、各種シンポジウム講演、各賞受賞講演(工学部18会場)

9月17日~9月19日 総合受付(工学部玄関ホール1階)
付設機器・カタログ展示会(工学部玄関ホール1階および廊下)

ワールドマテリアルアワード作品展示(工学部玄関ホール1階)

9月25日(木) 14:00~16:30 高校生・高専学生ポスターセッション(オンライン)

開会の辞(9月17日)

橋本直幸実行委員長より挨拶があり、続いて吉見享祐学会長より開会の挨拶があった。



贈呈式(9月17日)

吉見享祐学会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。



第22回村上記念賞贈呈式 1名に対し賞状、賞牌ならびに賞金贈呈。(受賞者；本誌11号707頁)

第22回村上奨励賞贈呈式 2名に対し賞状ならびに賞金贈呈。(受賞者；本誌11号707頁)

第35回奨励賞贈呈式 7名(学術部門5名、技術部門2名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者；本誌11号707頁)

第1回貢献賞贈呈式 5名に対し賞状贈呈。(受賞者；本誌11号709頁)

第48回技術開発賞贈呈式 2件15名に対し賞状ならびに楯贈呈。(受賞者；本誌11号710頁)

第5回新進論文賞贈呈式 8編8名に対し賞状贈呈。(受賞者；本誌11号711頁)

第15回まてりあ賞贈呈式 3編20名(まてりあ論文賞2編、まてりあ啓発・教育賞1編)に対し賞状贈呈。(受賞者；本誌11号713頁)



～おめでとうございます。～

日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会(9月17日)

従来の懇親会の立食スタイルとは違い、テーブル席でジンギスカンや飲み物の食べ放題で実施した。座席予約の都合、事前予約のみとし、多数の参加申込があった。講演会場から懇親会場まで臨時シャトルバスを発車し参加者の移動の便を図った。

日時：9月17日(水)18時30分～20時30分

場所：サッポロビール園ポプラ館2階(札幌市東区北7条東9丁目2-10)

参加者：288名(本会への申込者・招待者224名)

開会の辞・司会

北海道大学教授 菊地竜也

大会実行委員長挨拶

北海道大学教授 橋本直幸

来賓挨拶

北海道大学総長 審金清博

日本鉄鋼協会会长挨拶・乾杯

日本製鉄㈱代表取締役副社長 藤田展弘

懇談

日本金属学会会長挨拶・乾杯 東北大学教授 吉見享祐



～司会進行 菊地先生～



～お疲れサマー～

大会参加者

1,716名(事前：1,595名、後期(当日)：66名、相互聴講：55名)

• 有料申込数1,572名

正員637名、学生員683名、非会員一般85名、非会員学生47名、維持員会員社員53名、協賛学協会(鉄鋼協会)会員12名、相互聴講(一般・学生)55名

• 無料参加者数144名

受賞講演者・非会員基調講演・招待講演者・国際シンポジウム講演者54名、高校生ポスター参加者33件、65歳以上会員・名誉員57名

学術講演会(9月17日～19日)

最終講演件数1,128件

欠講8件(講演番号：一般講演No.29, No.39, No.252, No.307 国際シンポジウムIS1.2, IS1.6 ポスターセッションP84, P100)

公募シンポジウム講演8テーマ225題(奨励賞受賞講演1題、基調講演45題含む)

企画シンポジウム2テーマ 15題

国際シンポジウム28題

一般講演441題(奨励賞受賞講演5題、技術開発賞受賞講演2題、村上記念賞受賞講演1題、村上奨励賞受賞講演2題、招待講演1件含む)

共同セッション2テーマ27題

ポスターセッション367題

高校生ポスター 24題

講演会場 19会場(A～S会場)

第45回ポスターセッション(9月17日)

日時：9月17日(水)

第1部 13:30～15:00

第2部 15:30～17:00

場所：北海道大学フード&メディカルイノベーションセンター

過去最多の367件のポスター発表が2部制で行われた。シンポジウム講演と併催で且つ口頭発表が行われている工学部の会場と距離があったため、会場間の送迎バスを利用し移動頂いていたが、大変多くの聴講者が来場し、ポスターセッション会場はいつもながら大盛況であった。

優秀ポスター賞は1次審査と2次審査の2段階審査で行われ、審査対象となっている324件を審査した。審査の結果優秀ポスター賞の受賞者28名を決定し、9月24日に受賞者を本会講演大会ホームページで発表した。

今回は新しい取り組みとして、講演大会前日となる16日に【学生ポスター発表プレ討論会】を開催し、1グループ5名程度で自身の研究に関するプレゼンをし合い、理解を深めるとともに、金属関連分野における学生同士のネットワークを形成するきっかけとなった。終了後、参加学生には「ポスターセッションプレ討論会修了証書」を贈呈した。

第14回高校生ポスターセッション(9月17日および9月25日)

9月17日(水) 13:30～15:00

場所：北海道大学フード&メディカルイノベーションセンター

第1部 13:30～15:00

第2部 15:30～17:00

9月25日(木) 14:00～16:30

場所：オンライン 第1部 14:00～15:00

第2部 15:30～16:30

発表者が現地発表とオンライン発表のいずれかを選択し、現地発表8件、オンライン発表16件の合計24件の高校生・高専学生(3年生以下)ポスター発表および審査を行った。審査結果は9月26日に講演大会ホームページにて発表し、日本金属学会長賞1件、最優秀賞3件、優秀賞9件を授賞した。

現地発表は第45回ポスターセッションと同じ会場で行い、オンライン発表では事前に発表者から提出されたポスター画像をポスター掲示システム上に掲載し、Zoomミーティング上で発表した。いずれの発表も熱心に取り組んだ研究を発表していた。発表した生徒は大学教員等からアドバイスを受け、今後の研究の参考や励みになると喜んでいた。現地発表では発表者が通常のポスター発表や他校の高校生ポスター発表を聴講する姿があり、発表者の意識の高さが感じられた。

今回から高校生・高専学生ポスターセッション前に現地発表される発表者(連名の生徒さんを含む)と指導教員を対象に【高校生ランチョンセミナー】を開催した。弁当を食べながら、日本金属学会の活動内容を紹介し、「缶バッジ作り」の体験などを行ってもらった。生徒間の交流も行われ盛会裏に終了した。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」18題(金属14題、鉄鋼4題)は9月17日と18日に金属学会R会場で開催した。
「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」28題(金属13題、鉄鋼15題)は9月17日と18日に日本鉄鋼協会会場14で開催した。

国際シンポジウム

第4回国際シンポジウムは2テーマで開催し、「Advances in Materials for Hydrogen Production, Storage, and Utilization(KIM-JIMM Symposium)」20題は、9月18日、19日にKIM-JIMMシンポジウムとして開催した。

「Recent Trends and Future Perspectives of Semiconductor Materials」8題は9月19日に開催した。

日本から10名、韓国から9名、中国から1名、オーストラリアから3名、台湾から4名、アメリカから1名の計28名の講演が行われた。また、国際シンポジウム終了後に、講演者および関係者の懇親会を開催し、交流を深めることができた。

付設機器・カタログ等展示会(第52回)

機器展示17社の出展の協力を得た。各社のご厚意に感謝いたします。

常時開設 オンライン機器展示会

第20回企業ランチョンセミナー(9月18日)

昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら、講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく、ランチョンセミナーを開催し、以下の企業が30分程度のセミナーを行った。

9/18(木)

●(株)エイソス：参加者30名

●ブルカージャパン(株)：参加者54名

ランチタイムキャリアサポートセミナー(9月18日)

昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら、企業の採用情報やインターンシップ募集情報、研究開発動向等を聴講いただく、ランチョンセミナーを開催し、一つの会場で以下の企業が30分程度ずつセミナーを行った。参加者22名。

9/18(木)

●JFEスチール株式会社

●株式会社日本製鋼所

●日本製鉄株式会社

学生キャリアサポート企業展示(9月17日)

ポスターセッションの会場において、企業が学生会員に向けての会社概要、今後の採用情報、インターンシップ募集情報、研究開発動向等を紹介する企業展示を実施した。

●日本軽金属(株)

●石福金属興業(株)

●(株)豊田中央研究所

●JFEスチール(株)

●古河電気工業(株)

●松田産業(株)

●合同製鉄(株)

託児室

9月17日(水)～19日(金)に託児室を開設した。

利用者数：9月17日 6名、9月18日 7名、9月19日 7名
シッター3～4名体制で実施した。

第15回男女共同参画「女性会員の集い」(9月19日)

女性会員が昼休みの時間に集い交流・人脈作り・キャリアデザイン・職場の環境や人間関係で困ったこと等の意見交換を行う集いが開催された。参加者15名

第23回 World Materials Day Award

材料系国際学協会連携組織であるIOMMMS(International Organization of Materials, Metals and Minerals Societies)では、World Materials Dayを制定し、11月の第一水曜日に世界同時に、「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰している。日本金属学会では、次の方を授賞した。

発表・審査日時：9月18日(木)11:00～12:00

場所：北海道大学工学部玄関ホール

• Winner(優秀賞) 1件

「ファイバーレーザーによる金属表面の構造色制御」(第3部門)

仙台高等専門学校 武田芽依君 河西琴美君 佐藤道太君

• 部門賞(1件)

リグニンとデンプンからなる代替プラスチックの開発と特性評価(第2部門)

仙台高等専門学校 渥美慧流君 及川友花君 佐々木ゆい君
早坂美尋君 菱沼侑太朗君

※(部門の説明)第2部門：学園祭やキャンパスオープンデー等での該当する展示物、作品等
第3部門：その他(材料教育プロジェクト、青少年対象の材料実験等)

大会雑記

北海道大学札幌キャンパスでの講演大会は2017年8年ぶりの開催であった。初日の午前中のみ雨に見舞われたものの、概ね爽やかな初秋の天候の下、講演大会が開催された。

講演会場は、口頭発表は工学部19会場で開催し、ポスターセッションはフード&メディカルイノベーションセンターで開催した。口頭発表の会場とポスターセッション会場が1キロ以上離れていたため、会場間の臨時送迎バスを運行し、参加者の便を図った。

懇親会はサッポロビール園で行われ、従来の懇親会の立食スタイルとは違い、テーブル席でジンギスカンを楽しみながら、参加者は歓談に花を咲かせ盛り上がっていた。

北海道大学での日本金属学会講演大会開催に当たって、橋本直幸実行委員長をはじめとする実行委員の皆様には準備当初より長期にわたり、大変なご努力とご配慮を頂き、そのご尽力により大会を盛会裡に運営することができました。お忙しい中を本会のために長期間を割き、諸般について万端のご協力を頂いた実行委員の方々はじめアルバイト学生の皆様、大学関係者各位に対しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。